

# カハニア



● さやま園のフェンスアート  
この記事は P3.4 に掲載

指定障害者支援施設

さやま園  だより  
GOOD DAY SUNSHINE PROJECT!

No.222  
2024.MAR.





# REPORT

三瓶 達矢園長 編

皆様お元気でしょうか？今回は入所施設長として私見を書かせて頂きます。

ニユース等で4月から介護報酬改定の話が出ていると思いますが、障害分野も同様です。今回は地域移行に重きを置いた報酬改定となります。入所施設については引き続きあり方を検討することで、政府は25年に定員5%減を掲げています。では入所施設が減って、地域移行が増えれば、利用者さんのためになるのでしょうか？

色々な考えはあると思いますが、障害がある人もない人も地域で暮らす権利をもっています。現に私の85歳の母親は要介護5身体1級の最重度であります。都内で一人暮らしをしています。それは多くのヘルパーさんや医療機関の協力があり、また事業所サービスが充実しているからこそです。

でも人材はというと？サービスはというと？の部分もあります。家族としての要望はありますが極力控えています・・・理想は難しいです。ただし毎日継続して来て頂けるだけありがたいのが本音です。お陰様で私も仕事との両立ができています。地域移行において在宅でもグループホームでも良いですが、それだけ支えてくれる事業所や人材がいるのでしょうか？しかも障害者支援を理解している人材がいるのでしょうか？理解している法人・株式会社があるのでしょうか？

不正や虐待をした事業所の報道が後を絶ちません。また行政も事業所の実態をきちんと把握できていないのだと思います。そのため求められることも多くなっており、税金で運営しているので当たり前ですが、研修やご要望、監査など事務仕事が年々増えています。

国は処遇改善のための手当てを出しているものの、人手不足が顕著です。デジタル介護ロボットや電子化なども少しずつ開発されていますが、まだ難しい部分は大きいです。私たちの支援は効率的にはできず人手がかかります。

言いたいことは、理想は大事ですが、身の丈にあった運営を継続していくことかと考えます。ただし業務改善も必要不可欠ですし、その中でデジタルの技術も上手に利用していくことです。

私たち支援員は支援力を高めていくことが大事です。そして利用者さんの持っている力を知り、それを引き出すことが仕事です。それにより職員の業務も微量ですが減っていくと思います。ただし高齢になった方が次の生活場所へスムーズに移行できるシステムをつくることも課題です。

とはいえ最優先課題は職員の育成や採用を進めていくことです。日本は先進国の中でも、仕事のやりがいを持ってない人が多いと聞いています。しかし「入所施設の仕事は大変だけどやりがいの持てる仕事、人間力を高められる仕事であると思います。利用者さんの個性も影響しているでしょうが、その利用者さんの力を引き出すこと＝職員の力も引き出される相互関係にあると思います。そのため入所施設は利用者さんのためにも職員のためにも必要不可欠な施設であると信じています。」

最後に1月の震災で苦しまれている石川県に佛子園という施設があります。「福祉施設が地域の情報をもっており自治体のできないことを補い、支援をつなげている。そんな機能は他の業界にできない地域の拠点になっている。」と代表者がおっしゃっています。福祉施設のまさに理想図です。微力ながらエールを送らせて頂きます。

副園長

つしま 對馬の

さやま アルアル 言いたい～!



このカルミアが発刊される頃は、冬から春のやわらかな陽気への変化も感じられる頃でしょう。ようやくさやま園での一年が過ぎようとしています。前号からの連載になりました。愛すべきさやま園アルアルがさらに増えています。

では、さやまアルアル言わせてください。

### ～ 支援員は冬でも半そでTシャツ着がち ～

さやま園オリジナルTシャツを愛用しているさやま人は多い。夏場は利用者さんがよく着ている。利用者さんが描いたイラストがデザインされ、色味も多種。着心地抜群。園での生活をカラフルに彩る存在でもある。

朝出勤して、利用者さんと同じTシャツになった日は「おソロですねー」とひと盛り上がり。おそろいになる頻度はわりと多い。なぜかうれしくなる支援員と利用者さん。

さやまアルアルはそこから。真冬でも支援員のTシャツ愛用者は減らない。朝晩冷え込む夜勤でも愛用者は一定数いるのである。ちなみに利用者さんのTシャツ率はガクンと落ちる。利用者さんの衣類の調節、アドバイスは徹底しているさやまの支援員。テキパキと支援に活躍するには、園Tシャツがよいのだ。

そんなわたしも、夜勤をする時は半袖Tシャツスタイル推しです。

上着を着せようとする  
對馬副園長





## さやま園ならではのフェンスアート

みなさん、「フェンスアート」をご存知ですか？

金網状のフェンスに直接糸を通したり、カラーボールをはめこんだりしてフェンスを装飾するアートです。

さやま園でも敷地内の作業棟横のフェンスに、「フェンスアート」を制作しました。

日中活動では、以前からそのフェンスに利用者さんが制作したものを飾れないか?と考えていました。しかし、絵では防水や色あせの問題があり、また安全を考えると、直接フェンスに何か施すのも難しい……。みんなで取り組むことができ、ぱっと目にとまる華やかなフェンスにするにはどうしたらよいか……。日中活動の職員とデザイナーの林よしえさんが一緒に案を出し合いました。

そこで出たアイデアが、すずらんテープと園芸用ネットを使ったフェンスアートです。作業工程は簡単です。園芸用ネットにすずらんテープを結んでいき、そのネットをフェンスにかけるという方法。これなら室内で座ってできるので、多くの利用者さんが参加できます。

はじめはどのようにするか戸惑っていた利用者さんも、慣れてくると、黙々と何時間も集中して制作していました。綺麗に網目をうめていく方、三つ編みをする方、一列ずつ結んでいく方、結び方にも一人ひとり、様々な個性がありました。このようにして、何色ものすずらんテープを一本一本丁寧に結び、約半年かけてさやま園のフェンスアートが完成しました。

今作業棟横には、カラフルなテープがひらひらと風になびき景色に彩りを添えています。



デザイナーの林よしえさん  
さやま園広報紙カルミアのデザインや  
作品展示のアドバイス等を担当。



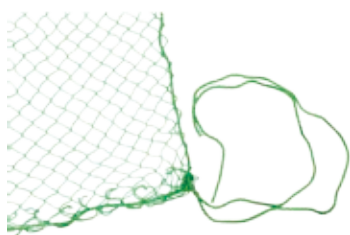
**完成品**  
すずらんテープを結びつけた園芸用ネットを  
フェンスに取り付けて完成!



## 様々な工夫を凝らして

工夫  
POINT-1

だれでも参加できるように  
直接フェンスに装飾するのではなく室内で  
作業できる園芸用ネットを使用しました。



工夫  
POINT-2

色の種類も多く、水にも強い、また幅広なテープは  
結んだり通したりするのに扱い易いので、  
すずらんテープを使用しました。



よく見ると結び目にもそれぞれの個性が現れています。



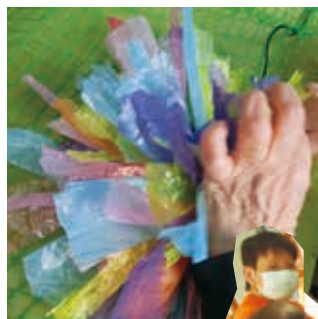
一つの網目に数本の  
テープを結ぶ人



マルチカラーで三つ編みした  
テープを結びつける人



規則正しく縦方向に  
テープを結んでいく人



作成の様子  
園芸用ネットを机に広げ  
テープを結びつけています。

まったりカフェ活(?)してみました。

近年 SNS 等で流行している『カフェ活』

写真映えするようなお洒落なカフェに行って優雅なティータイムを過ごすことを指しているのだとか…

コロナ禍を経て、様々な規制が緩和された 2023 年度。おやつの時間に、普段よりもちょっと足を伸ばして外出し、カフェ活してみました。

近隣のお店や施設にご協力いただき、自分で飲み物やフードを選択して注文。

甘味を楽しんだり、本を開いてみたり…<sup>あふ</sup>笑顔溢れるおやつ時間を過ごし、良いリフレッシュになっている様子でした。

コロナ禍以前は飲食店への外出だけでなく、お出掛けや旅行も行っていた利用者さんたち。

特に旅行は「いつ行けるかな」と楽しみにされている方も多いようです。

来年度こそは沢山の新しい思い出ができると良いですね。



- 撮影場所
- ・イトーヨーカドー マクドナルド
  - ・まちライブラリー つなぐカフェオーリーブ
  - ・東村山生活実習所 カフェフラッフィー



こんにちは、広報委員のナギカワ（以下：ナギ）です。出会いと別れの季節がまたやってきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？今回はすみれグループから南棟にやってきた澁谷朋昭さん（以下：澁谷）をお迎えしました。どんなお話しが聞けるのでしょうか？

それでは、**スタート ミー アップ！！**

**ナギ**：何かいきなりのお願いですみません。

**澁谷**：もっと他にふさわしい人いますよ～。恥ずかしいですし…

**ナギ**：いやいや、澁谷さんはちょっとした会話でも軽くひねった面白い返しをする方だと評判ですから。

#### これまではどんな仕事を？

**ナギ**：これまではどんなお仕事をされていたんですか？

**澁谷**：仙台でサラリーマンをやっていました。100年に一人の逸材と言われていましたが、なぜか転勤で東京へ来ました。その後はひょんなことから、とある業界の組合専従職員として働いていました。

**ナギ**：おお、それは興味深い。難しいお仕事というイメージがありますが…関係各所の調整などなど…

**澁谷**：そうですね。話せること、話せないこと色々ありますね…（笑）それから紆余曲折を経て、さやま園を見学したところ、とにかく明るい雰囲気だったので、ここで働こうと思いました。

**ナギ**：さやま園に来てくれて良かったです。紆余曲折については後ほど深掘りしていきたいです。



ポーズをとる澁谷さん

#### ロックな話題

**ナギ**：（白々しく）音楽好きなんですよ（※以前、澁谷さんがナギに「この辺でいいレコード屋はないか？」と聞いているため）

**澁谷**：そんな大したことないですから…

**ナギ**：話広げて下さい笑。どんなの聴いてました？

**澁谷**：グランジですね。やはりニルヴァーナ…

**ナギ**：スマパン、パールジャム、サウンドガーデン、ダイナソー Jr. とか？

**澁谷**：はい、そうです。そこから彼らのルーツを探っていく感じですね。

**ナギ**：ピクシーズとか？

**澁谷**：はい、そうです。ピクシーズはカート（・コバーン）も好きだったみたいですよ。

**ナギ**：好きなアーティストが影響を受けたアーティストって遡って行くのは基本ですよ。

**澁谷**：邦楽ならブッチャーズ (Bloodthirsty butchers) も好きです。

**ナギ**：…この辺にしておきましょうか笑。



足早に駅に向かう澁谷さん

#### 国分寺

**ナギ**：おすすめスポットやお店はありますか？

**澁谷**：（国分寺在住ですが、）セレオ国分寺にある「コクテル堂」が最近のお気に入りです。コーヒーが美味しくて（2杯目がお得）、ケーキも甘くておしゃれです。いつか行きたいです。

**ナギ**：行ったことないんかい笑。じゃあ今度、「珍屋（めずらしや）※国分寺の中古レコード店」寄ってから、コクテル堂でコーヒー飲みましょう。

**澁谷**：いや結構です。私は「ほんやら洞」に行きますので…

**ナギ**：おい笑！

⇒続きは、さやま園 WEB サイト「<https://sayamaen.com>」にて公開いたします。または PC やスマホにて「さやま園」で検索してみてください。

## 職員募集！

さやま園では私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。  
ご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームかお電話でご連絡ください。

職種：生活支援員

●常勤職員（契約社員/1名）18歳~70歳まで 月給¥216,800~  
シフト制による週休2日（夜勤あり）

●パート職員（1名）18歳~70歳まで 時給¥1,155~  
シフト制（時間相談可）

\*未経験者可(研修が充実しているので安心して働けます。) \*正社員登用あり



さやま園のホームページ  
お問い合わせフォーム

<https://sayamaen.com/new-contact>

問い合わせ先 TEL:042-391-3275

リクルート担当：三瓶・柿木・對馬

## ボランティアさん募集！

さやま園では様々な活動をしています。  
そのお手伝いをしてくださる以下のボランティアさんを募集しています。  
ご興味のある方はご連絡ください。

1

作業内容：季節に合った装飾作り

活動日時：平日の13:30~15:30

- ・利用者さんが余暇の時間に制作する、季節の装飾作りの土台となるものを制作していただける方を募集しています。
- ・活動に入る前に、職員より、活動の流れ等を簡単に説明します。
- ・ボランティアの皆さんには、下絵を描いてもらったり、装飾のパーツを作ってもらったり、利用者さんが簡単に制作に取り掛かりやすいよう装飾作りの準備をお願いしたいです。

2

作業内容：利用者さんの手芸作品の仕上げ作業

活動日時：月曜日・金曜日 13:30~15:30

利用者さんの手芸作品の仕上げ作業をしていただける方を募集しています。作品は刺しゅう・カバン作り等様々です。作品に応じて手芸の内容をお伝えします。



### 寄付のお願い

#### 依頼品目：消毒用タオル

感染症予防のための園内消毒に使用する布が不足しています。いらなくなったタオルを**手のひらサイズ**に切ってご持参いただけると助かります。

問い合わせ先 TEL:042-391-3275

ボランティア担当：長田<sup>おさだ</sup>  
寄付担当：三瓶<sup>みかめ</sup>・柿木<sup>つしま</sup>・對馬

次号のカルミアはリニューアルしてお届け予定です。楽しみに！

### 編集後記

春といえば別れと出会い、新たな門出の季節。皆様いかがお過ごしでしょうか。

入社して早5年となりましたが、その半分以上がコロナウイルスの影響受け、行動制限のかかった生活でした。過去のカルミアを見ながら（WEBでも見ることができます！）地域の方を交えたワークショップなど私が体験したことのないさやま園での生活が取り上げられており、今年度はどのような生活を送ることができるだろうかと想いを馳せています。さやま園にかかわる皆さんにとって健康で充実した1年となるように願い、編集後記とさせていただきます。

広報委員 野島

